

令和3年度

夕張市各会計決算審査報告書
(水道事業会計は除く)

夕張市監査委員

令和3年度 決算審査意見書について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和3年度決算について審査したのでその結果について次のとおり意見を提出する。

(1) 本審査は、夕張市監査基準第4条第11号の規定に準拠し実施した。

(2) 監査等の種類 地方自治法第223条第2項に基づく決算審査

(3) 監査等の対象

- ・令和3年度 夕張市一般会計決算
- ・令和3年度 夕張市国民健康保険事業会計決算
- ・令和3年度 夕張市市場事業会計決算
- ・令和3年度 夕張市公共下水道事業会計決算
- ・令和3年度 夕張市介護保険事業会計決算
- ・令和3年度 夕張市後期高齢者医療事業会計決算

(4) 監査等の着眼点

審査に付された決算書等及び、その他の関係書類が関係法令に準拠されているか、またこれらの係数は正確か、予算の執行状況は適正であるかを着眼点とした。

(5) 監査等の主な実施内容

決算値の推移や増減理由、事業の効率性など決算内容を多角的に分析し、関係職員からの説明を聴取するなどの方法で審査をおこなった。

(6) 監査等の実施場所及び日程

夕張市監査事務局

令和4年8月3日～令和4年8月24日

(7) 監査等の結果

審査した結果、決算その他の関係書類は法令に適合し、かつ適正であり正確であることが認められた。なお、審査結果の詳細及び意見は、以下のとおりである。

◇総括	2ページ
◇一般会計決算	3ページ
◇国民健康保険事業会計決算	8ページ
◇市場事業会計決算	11ページ
◇公共下水道事業会計決算	12ページ
◇介護保険事業会計決算	14ページ
◇後期高齢者医療事業会計決算	16ページ
◇主な収入金の未済額状況等	18ページ

《 総 括 》

1. 各会計決算額

(単位:千円)

会 計 名	歳 入	歳 出	形 式 収 支	翌年度繰越	実質収支額
				明許費繰越額	
(1)一般会計	11,727,241	10,924,802	802,439	156,856	645,583
(2)国民健康保険事業会計	1,233,883	1,233,883	0	0	0
(3)市場事業会計	2	2	0	0	0
(4)公共下水道事業会計	243,959	243,959	0	0	0
(5)介護保険事業会計	1,757,306	1,710,437	46,869	0	46,869
(6)後期高齢者医療事業会計	203,747	201,139	2,608	0	2,608
合 計 (水道事業会計を除く)	15,166,138	14,314,222	851,916	156,856	695,060

※各会計の計数において、端数調整上、各表等の数値が一致しない場合がある。

《 一 般 会 計 》

1. 予算の執行状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	増 減	決算額 比 率	未 済 額	未収率
1.市税	794,213	900,649	106,436	7.7 %	58,824	6.1 %
2.地方譲与税	51,055	57,591	6,536	0.5 %	0	0.0 %
3.利子割交付金	281	386	105	0.0 %	0	0.0 %
4.配当割交付金	1,296	1,963	667	0.0 %	0	0.0 %
5.株式等譲渡所得割交付金	829	2,382	1,553	0.0 %	0	0.0 %
6.法人事業税交付金	2,859	8,709	5,850	0.1 %	0	0.0 %
7.地方消費税交付金	164,073	210,028	45,955	1.8 %	0	0.0 %
8.環境性能割交付金	3,121	3,697	576	0.0 %	0	0.0 %
9.地方特例交付金	76,399	8,597	△ 67,802	0.1 %	0	0.0 %
10.地方交付税	4,711,290	5,306,133	594,843	45.2 %	0	0.0 %
普通交付税	3,164,079	3,723,908	559,829	31.7 %	0	- %
特別交付税	1,547,211	1,582,225	35,014	13.5 %	0	- %
震災復興特別交付税	0	0	0	0.0 %	0	- %
11.交通安全対策特別交付金	500	0	△ 500	0.0 %	0	- %
12.分担金及び負担金	29,369	31,203	1,834	0.3 %	4,836	13.4 %
13.使用料及び手数料	483,048	449,823	△ 33,225	3.8 %	372,496	45.0 %
14.国庫支出金	2,153,784	2,004,540	△ 149,244	17.1 %	0	0.0 %
15.道支出金	511,757	459,455	△ 52,302	3.9 %	0	0.0 %
16.財産収入	57,441	62,802	5,361	0.5 %	31,332	33.3 %
17.寄附金	428,238	407,717	△ 20,521	3.5 %	0	0.0 %
18.繰入金	1,230,529	746,409	△ 484,120	6.4 %	0	0.0 %
19.繰越金	323,809	323,809	0	2.8 %	0	0.0 %
20.諸収入	56,122	61,735	5,613	0.5 %	37,742	37.5 %
21.市債	846,813	679,613	△ 167,200	5.8 %	0	0.0 %
合 計	11,926,826	11,727,241	△ 199,585	100.0 %	505,230	4.1 %

※ 決算額比率は合計に対する各決算額の割合で、端数整理前の対比である。(以下各表に同じ)

※ 未済額は決算書の収入未済額であり、未収率は調定額に対する割合である。(以下各表に同じ)

		(千円)
【主な収入】ア. 市 税	◇ 市民税個人現年課税分	226,609
	◇ 固定資産税現年課税分	298,531
	◇ 固有資産市町村交付金現年分	198,805
イ. 地方消費税交付金	◇ 社会保障財源交付金	117,350
ウ. 地方交付税	◇ 普通交付税	3,723,908
	◇ 特別交付税	1,582,225
エ. 使用料及び手数料	◇ 公営住宅使用料	305,044
オ. 国庫支出金	◇ 子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金	235,391
	◇ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	282,517
	◇ 都市構造再編集中支援事業費補助金	380,200
カ. 道支出金	◇ 地域づくり総合交付金(模擬坑道火災復旧事業)	17,200
キ. 寄附金	◇ 指定寄附金(まち・ひと・しごと創生寄附金)	19,468
ク. 繰入金	◇ 幸福の黄色いハンカチ基金繰入金	295,011
	◇ 石勝線代替輸送確保基金繰入金	42,227
	◇ 財政再生計画調整基金繰入金	137,464
ケ. 繰越金	◇ 繰越金	323,808
コ. 市 債	◇ 診療所建設事業債	242,400
	◇ 過疎対策債	193,000

		(千円)
【主な未済額】		
ア. 市税	◇ 市民税現個人滞納繰越分	12,369
	◇ 固定資産税滞納繰越分	30,026
イ. 使用料及び手数料	◇ 公営住宅使用料(現年分)	14,281
	◇ 公営住宅使用料滞納繰越分	283,090
	◇ 賃貸住宅使用料滞納繰越分	72,909
ウ. 財産収入	◇ 貸地料	27,475
エ. 諸収入	◇ 浄化槽利用者負担金収入滞納繰越分	29,929

(2)歳出

(単位:千円)

科目	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	執行残	執行残率
1.議会費	51,615	48,381	0	3,234	6.3 %
2.総務費	1,714,666	1,609,042	5,139	100,485	5.9 %
3.民生費	2,870,295	2,535,872	2,061	332,362	11.6 %
4.衛生費	1,730,832	1,362,277	300,529	68,026	3.9 %
5.農林業費	91,247	82,572	0	8,675	9.5 %
6.商工費	156,020	130,150	0	25,870	16.6 %
7.土木費	870,266	830,828	0	39,438	4.5 %
8.消防費	400,957	385,994	0	14,963	3.7 %
9.教育費	463,922	416,998	1,800	45,124	9.7 %
10.公債費	3,500,697	3,495,434	0	5,263	0.2 %
11.諸支出金	31,071	27,254	0	3,817	12.3 %
12.予備費	12,783	0	0	12,783	100.0 %
13.災害復旧費	32,455	0	32,455	0	0.0 %
合計	11,926,826	10,924,802	341,984	660,040	5.5 %

※各会計の計数において、端数調整上、決算書との数値が一致しない場合がある。

(千円)

【執行残の主なもの】

ア. 総務費	◇ り山管理修繕料	1,260
	◇ 地域活性化支援業務委託料	5,215
	◇ 子育て世帯向け住宅取得等助成金	4,270
	◇ 地域おこし協力隊支援業務委託料	10,636
イ. 民生費	◇ 養育医療給付	265
	◇ 冬期生活特別支援金	3,100
	◇ 生活困窮者自立支援金	4,540
	◇ 被保護者健康管理支援システム使用料	476
	◇ 臨時特別給付金システム改修委託料	2,249
ウ. 衛生費	◇ 合併浄化槽設置費補助	2,249
	◇ ワクチン接種委託料	16,054
エ. 農林業費	◇ 木材販売委託料	620
オ. 商工費	◇ 市内事業者雇用促進助成金	7,350
	◇ 経営持続化応援給付金	6,445
	◇ 観光施設利用促進補助	7,265
カ. 土木費	◇ 市営住宅明渡訴訟業務委託料	1,662
	◇ 移転補償金	4,680
キ. 消防費	◇ 消防団費用弁償	3,198
ク. 教育費	◇ 児童生徒情報化促進通信運搬費	1,037
	◇ 平和教育推進事業費補助	400

2. 財政の状況

(1) 歳入 (性質別区分一増減)

(単位:千円)

科 目	総 額			(総額のうち)一般財源			
	令和3年	令和2年	増 減	令和3年	令和2年	増 減	
1.市 税	900,649	860,659	39,990	900,649	860,659	39,990	
2.地方譲与税	57,591	56,777	814	57,591	56,777	814	
3.利子割交付金	386	541	△ 155	386	541	△ 155	
4.配当割交付金	1,963	1,306	657	1,963	1,306	657	
5.株式等譲渡所得割交付金	2,382	1,583	799	2,382	1,583	799	
6.法人事業税交付金	8,709	3,044	5,665	8,709	3,044	5,665	
7.地方消費税交付金	210,028	198,997	11,031	210,028	198,997	11,031	
8.環境性能割交付金	3,697	3,679	18	3,697	3,679	18	
9.地方特例交付金	8,597	2,558	6,039	8,597	2,558	6,039	
10.地方交付税	5,306,133	4,942,168	363,965	5,306,133	4,942,168	363,965	
	普通交付税	3,723,908	3,420,471	303,437	3,723,908	3,420,471	303,437
	特別交付税	1,582,225	1,521,697	60,528	1,582,225	1,521,697	60,528
11.交通安全対策特別交付金	0	0	0	0	0	0	
				6,500,135	6,071,312	428,823	
12.分担金及び負担金	31,203	33,003	△ 1,800	0	0	0	
13.使用料及び手数料	449,823	485,609	△ 35,786	74,039	110,167	△ 36,128	
14.国庫支出金	2,004,540	2,270,776	△ 266,236	323,875	428,341	△ 104,466	
15.道支出金	459,455	445,285	14,170	24,726	14,493	10,233	
16.財産収入	62,802	48,105	14,697	41,261	45,841	△ 4,580	
17.寄附金	407,717	387,344	20,373	0	0	0	
18.繰入金	746,409	783,035	△ 36,626	268,156	300,000	△ 31,844	
19.繰越金	323,809	576,134	△ 252,325	269,598	576,124	△ 306,526	
20.諸収入	61,735	51,543	10,192	10,318	5,894	4,424	
21.市 債	679,613	1,054,037	△ 374,424	163,113	135,337	27,776	
合 計	11,727,241	12,206,183	△ 478,942	7,675,221	7,687,509	△ 12,288	

【増減の主なもの】 ◆総額の前年度対比◆

(千円)

ア. 市 税	◇ 市民税個人現年課税分	△ 1,229
	◇ 市民税法人現年課税分	△ 1,249
イ. 法人事業税交付金	◇ 法人事業税交付金	5,665
ウ. 地方消費税交付金	◇ 社会保障財源交付金	9,529
エ. 地方特例交付金	◇ 税減収補填特例交付金	6,039
オ. 地方交付税	◇ 普通交付税	303,437
	◇ 特別交付税	60,528
カ. 分担金及び負担金	◇ 民生費負担金(老人福祉・保育児童福祉)	△ 1,800
キ. 使用料及び手数料	◇ 拠点複合施設使用料	240
	◇ 共同浴場使用料	△ 2,806
	◇ 公営住宅使用料	△ 25,438
ク. 国庫支出金	◇ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	△ 144,238
	◇ 子育て世帯臨時特別給付金事業費補助金	49,242
	◇ ワクチン接種体制確保事業費補助金	31,378
ケ. 財産収入	◇ 林産物売払代	18,401
コ. 繰入金	◇ 石勝線代替輸送確保基金繰入金	33,149

(2)歳出 (性質別区分—増減)

(単位:千円)

科 目	総 額			一 般 財 源		
	令和3年	令和2年	増 減	令和3年	令和2年	増 減
1.人件費	1,301,415	1,127,751	173,664	1,152,545	994,809	157,736
うち職員給	815,197	766,491	48,706	728,801	683,701	45,100
2.扶助費	1,578,972	1,337,974	240,998	358,169	364,216	△ 6,047
3.公債費	3,495,434	3,432,376	63,058	3,243,435	3,168,551	74,884
元利償還金	3,495,433	3,432,376	63,057	3,243,434	3,168,550	74,884
一時借入金利子	1	0	1	1	1	0
義務的経費計				4,754,149	4,527,576	226,573
4.物件費	1,337,843	1,233,094	104,749	602,699	637,630	△ 34,931
5.維持補修費	385,174	319,245	65,929	245,834	205,315	40,519
6.補助費、償還金	541,560	1,301,084	△ 759,524	304,615	373,933	△ 69,318
7.積立金	667,505	1,043,856	△ 376,351	279,067	676,312	△ 397,245
8.投資及び貸付金・出資金	0	0	0	0	0	0
9.繰出金	799,956	775,623	24,333	701,858	680,070	21,788
10.投資的経費	816,943	1,152,616	△ 335,673	134,760	104,109	30,651
11.災害復旧費	0	0	0	0	0	0
合 計	10,924,802	11,723,619	△ 798,817	7,022,982	7,204,945	△ 181,963

【増減の主なもの】 ◆総額の前年度対比◆ (千円)

ア. 人件費	◇ 時間外勤務手当	16,159
	◇ 退職手当	148,933
ウ. 積立金	◇ 財政調整基金積立金	△ 441,853
	◇ 幸福の黄色いハンカチ基金積立金	21,405

(3)歳出(目的別区分 — 増減)

(単位:千円)

科 目	R3年度決算	R2年度決算	増 減
1.議会費	48,381	66,779	△ 18,398
2.総務費	1,609,042	2,568,052	△ 959,010
3.民生費	2,535,872	2,868,166	△ 332,294
4.衛生費	1,362,277	830,899	531,378
5.農林業費	82,572	82,009	563
6.商工費	130,150	70,248	59,902
7.土木費	830,828	884,930	△ 54,102
8.消防費	385,994	403,265	△ 17,271
9.教育費	416,998	472,458	△ 55,460
10.公債費	3,495,434	3,432,376	63,058
11.諸支出金	27,254	44,437	△ 17,183
12.予備費	0	0	0
13.災害復旧費	0	0	0
合 計	10,924,802	11,723,619	△ 798,817

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆ (千円)

ア. 総務費	◇ 職員手当等	156,604
	◇ 特別定額給付金	△ 768,500
イ. 民生費	◇ 児童福祉費(認定こども園建設工事)	△ 499,941
	◇ 児童福祉費(認定こども園外構工事)	△ 91,993
ウ. 衛生費	◇ 予防費(ワクチン接種委託料)	40,994
	◇ 共同浴場修繕料	24,433
	◇ 診療所建設工事請負費	460,071
エ. 商工費	◇ 道の駅夕張メロード感染症等対策補助	20,000
	◇ プレミアム付商品券発行・販売補助	63,665
オ. 土木費	◇ 公園施設長寿命化補修工事	△ 56,100
カ. 教育費	◇ スクールバス運行委託料	△ 10,985

(4) 地方交付税の推移

(単位:千円)

区 分	平成 22年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
1.普通交付税	3,733,692	3,686,895	3,534,123	3,536,311	3,411,690	3,259,657	3,204,423	3,275,063	3,420,471	3,723,908
2.臨時財政対策債	399,066	274,200	255,579	238,243	177,409	174,575	171,781	130,232	126,848	163,113
3.計(実質普通交付税)(A)	4,132,758	3,961,095	3,789,702	3,774,554	3,589,099	3,434,232	3,376,204	3,405,295	3,547,319	3,887,021
4.Aの平成22年度対比		△ 171,663	△ 343,056	△ 358,204	△ 543,659	△ 698,526	△ 756,554	△ 727,463	△ 585,439	△ 245,737
5.特別交付税 (B)	1,583,965	1,594,125	1,595,585	1,583,986	1,567,514	1,686,557	1,569,815	1,542,818	1,521,697	1,582,225
6.Bの平成22年度対比		10,160	11,620	21	△ 16,451	102,592	△ 14,150	△ 41,147	△ 62,268	△ 1,740
7. (A) + (B)	5,716,723	5,555,220	5,385,287	5,358,540	5,156,613	5,120,789	4,946,019	4,948,113	5,069,016	5,469,246
8.A+Bの平成22年度対比		△ 161,503	△ 331,436	△ 358,183	△ 560,110	△ 595,934	△ 770,704	△ 768,610	△ 647,707	△ 247,477

《 国民健康保険事業会計 》

1. 予算の執行状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	増 減	決算額 比 率	未 済 額	未収率
1.国民健康保険料	129,196	123,161	△ 6,035	10.0 %	8,495	6.3 %
2.道支出金	973,272	965,909	△ 7,363	78.3 %	0	0.0 %
3.財産収入	4	4	0	0.0 %	0	0.0 %
4.繰入金	215,173	143,492	△ 71,681	11.6 %	0	0.0 %
5.繰越金	1	0	△ 1	0.0 %	0	- %
6.諸収入	1,697	1,139	△ 558	0.1 %	1,582	58.1 %
7.国庫支出金	170	178	8	0.0 %	0	0.0 %
合 計	1,319,513	1,233,883	△ 85,630	100.0 %	10,077	0.8 %

【主な収入】

(千円)

ア. 国民健康保険料	◇ 一般被保険者国民健康保険料(現年度分)	118,904
イ. 道支出金	◇ 普通交付金	887,155
	◇ 特別交付金(特別調整交付金)	55,004
ウ. 繰入金	◇ 保険基盤安定繰入金	25,534
	◇ 疾病予防対策事業費等繰入金	470
	◇ 国民健康保険準備基金繰入金	38,480
エ. 国庫支出金	◇ 国民健康保険災害等臨時特例補助金	170

【主な未済額】

ア. 国民健康保険料	◇ 一般被保険者国民健康保険料(滞納繰越分)	6,225
------------	------------------------	-------

(2) 歳出

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	執行残	執行残率
1.総 務 費	54,935	50,335	4,600	8.4 %
2.保 険 給 付 費	956,888	881,853	75,035	7.8 %
3.国民健康保険事業費納付金	286,598	284,654	1,944	0.7 %
4.共同事業拠出金	1	0	1	100.0 %
5.財政安定化基金拠出金	1	0	1	100.0 %
6.保健事業費	15,835	14,159	1,676	10.6 %
7.基金積立金	4	4	0	0.0 %
8.諸支出金	4,743	2,878	1,865	39.3 %
9.予備費	508	0	508	100.0 %
合 計	1,319,513	1,233,883	85,630	6.5 %

【執行残の主なもの】

(千円)

ア. 保険給付費	◇ 療養諸費(療養給付費)	73,955
	◇ 出産育児諸費(出産育児一時金)	420
	◇ 葬祭諸費(葬祭費)	120
イ. 国民健康保険事業費納付金	◇ 医療給付費分	1,186
	◇ 後期高齢者支援金等分	565
ウ. 諸支出金	◇ 過年度過誤納納付金	1,443

2. 財政の状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科目	令和3年度	令和2年度	増減
国民健康保険料	123,161	129,962	△ 6,801
国民健康保険料	123,161	129,962	△ 6,801
一 現年度分	118,904	125,011	△ 6,107
医療給付費分	78,890	82,965	△ 4,075
後期高齢者支援金分	29,602	31,082	△ 1,480
介護納付金分	10,412	10,964	△ 552
般 滞納繰越分	4,231	4,895	△ 664
医療給付費分	2,499	2,983	△ 484
後期高齢者支援金分	1,083	1,266	△ 183
介護納付金分	649	646	3
退 現年度分	0	0	0
医療給付費分	0	0	0
後期高齢者支援金分	0	0	0
介護納付金分	0	0	0
職 滞納繰越分	26	56	△ 30
医療給付費分	14	33	△ 19
後期高齢者支援金分	6	13	△ 7
介護納付金分	6	10	△ 4
国庫支出金	178	5,832	△ 5,654
道支出金	965,909	928,414	37,495
普通交付金(単独)	887,155	827,698	59,457
特別交付金	78,754	100,716	△ 21,962
保険者努力支援分	9,925	4,140	5,785
特別調整交付金	55,004	74,570	△ 19,566
道繰入金	10,933	19,140	△ 8,207
特定健診等負担金	2,892	2,866	26
財産収入	4	4	0
繰入金	143,492	121,468	22,024
他会計繰入金	105,012	106,996	△ 1,984
保険基盤安定繰入金	39,917	40,440	△ 523
保険料軽減分	25,534	26,058	△ 524
保険者支援分	14,383	14,382	1
職員給与費等繰入金	48,106	49,364	△ 1,258
出産育児一時金繰入金	2,520	1,082	1,438
財政安定化支援繰入金	13,999	15,624	△ 1,625
その他繰入金	470	486	△ 16
基金繰入金	38,480	14,472	24,008
繰越金	0	0	0
諸収入	1,139	3,058	△ 1,919
延滞金及び加算金	1,019	1,188	△ 169
預金利子	0	0	0
雑入	120	1,870	△ 1,750
合計	1,233,883	1,188,738	45,145

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 国民健康保険料	◇ 一般被保険者国民健康保険料	△ 6,801
イ. 道支出金	◇ 普通交付金(単独)	59,457
	◇ 特別交付金(特別調整交付金)	△ 19,566
	◇ 特定健診等負担金	26
ウ. 繰入金	◇ 保険基盤安定繰入金	△ 524
	◇ 職員給与費等繰入金	△ 1,257
	◇ 基金繰入金	24,007

(2)歳出

(単位:千円)

科目	令和3年度	令和2年度	増減
総務費	50,335	54,949	△ 4,614
総務管理費	40,237	44,919	△ 4,682
徴収費	294	474	△ 180
運営協議会費	20	9	11
特別対策事業費	9,784	9,547	237
保険給付費	881,853	834,108	47,745
療養諸費	744,657	708,795	35,862
療養給付費	744,657	708,795	35,862
療養費	2,808	2,856	△ 48
審査支払手数料	1,567	1,566	1
高額療養費	128,512	118,547	9,965
高額介護合算療養費	47	0	47
移送費	0	0	0
出産育児諸費	3,782	1,624	2,158
葬祭諸費	480	720	△ 240
国民健康保険事業費納付金	284,654	285,273	△ 619
医療給付分	212,327	214,222	△ 1,895
一般被保険者医療給付費分	212,239	213,952	△ 1,713
退職被保険者医療給付費分	88	270	△ 182
後期高齢者支援金等分	52,614	53,709	△ 1,095
一般被保険者医療給付費分	52,614	53,709	△ 1,095
介護給付金分	19,713	17,342	2,371
共同事業拠出金	0	0	0
共同事業拠出金	0	0	0
財政安定化基金拠出金	0	1	△ 1
財政安定化基金拠出金	0	1	△ 1
保健事業費	14,159	5,027	9,132
特定健康診査等事業費	14,159	5,027	9,132
基金積立金	4	3	1
基金積立金	4	3	1
諸支出金	2,878	9,378	△ 6,500
過年度過誤納還付金	2,035	8,380	△ 6,345
繰出金	843	998	△ 155
予備費	0	0	0
合計	1,233,883	1,188,738	45,145

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 保険給付費	◇ 療養諸費(療養給付費)	35,862
	◇ 高額療養費(高額療養費)	9,965
	◇ 出産育児諸費	2,158
イ. 国民健康保険事業費納付金	◇ 医療給付分	△ 1,895
	◇ 介護給付金分	2,371
ウ. 保険事業費	◇ 特定健康診査等事業費	9,132
エ. 諸支出金	◇ 繰出金	△ 154

《公共下水道事業会計》

1. 予算の執行状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	増 減	決算額率 比	未済額	未収率
1.使用料及び手数料	48,883	49,484	601	20.3 %	9,548	16.2 %
2.国庫支出金	5,500	5,225	△ 275	2.1 %	0	0.0 %
3.繰入金	160,482	157,750	△ 2,732	64.7 %	0	0.0 %
4.市 債	31,800	31,500	△ 300	12.9 %	0	0.0 %
合 計	246,665	243,959	△ 2,706	100.0 %	9,548	3.8 %

【主な収入】

(千円)

ア. 使用料及び手数料	◇ 下水道使用料	49,484
イ. 国庫支出金	◇ 公共下水道事業費補助金	5,225
ウ. 繰入金	◇ 一般会計繰入金	157,749

(2) 歳出

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	執行残	執行残率
1.公共下水道費	112,657	110,301	2,356	2.1 %
2.公債費	133,908	133,658	250	0.2 %
3.諸支出金	50	0	50	100.0 %
4.予備費	50	0	50	100.0 %
合 計	246,665	243,959	2,706	1.1 %

【執行残の主なもの】

(単位:千円)

ア. 公共下水道費	◇ 総務費(全体)	1,462
イ. 運営費	◇ 工事請負費	500
ウ. 公債費	◇ 起債利子	250

2. 財政の状況

(1)歳入

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1.使用料及び手数料	49,484	50,615	△ 1,131
2.国庫支出金	5,225	5,005	220
3.繰入金	157,750	147,492	10,258
4.市債	31,500	24,800	6,700
合 計	243,959	227,912	16,047

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 使用料及び手数料	◇ 下水道使用料	△ 1,131
イ. 国庫支出金	◇ 公共下水道事業費	220
ウ. 繰入金	◇ 一般会計会計繰入金	10,257

(2)歳出

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1.公共下水道費	110,301	92,660	17,641
2.公債費	133,658	135,252	△ 1,594
3.諸支出金	0	0	0
4.予備費	0	0	0
合 計	243,959	227,912	16,047

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 公共下水道費	◇ 総務費(負担金補助及び交付金)	P214	1,007
	◇ 総務費(委託料)	P213	3,520
	◇ 運営費(施設備品)	P217	4,023
イ. 公債費	◇ 公債費(全体)	P218	△ 1,594

《 介護保険事業会計 》

1. 予算の執行状況

(1) 歳 入

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	増 減	決算額率	未済額	未収率
1.介護保険料	286,302	287,557	1,255	16.4 %	2,149	0.7 %
2.国庫支出金	471,701	479,792	8,091	27.3 %	0	0.0 %
3.支払基金交付金	453,309	424,100	△ 29,209	24.1 %	0	0.0 %
4.道支出金	274,871	263,723	△ 11,148	15.0 %	0	0.0 %
5.繰入金	373,661	293,947	△ 79,714	16.7 %	0	0.0 %
6.財産収入	18	1	△ 17	0.0 %	0	0.0 %
7.サービス収入	9,082	8,095	△ 987	0.5 %	0	0.0 %
8.諸収入	3	91	88	0.0 %	18	16.5 %
合 計	1,868,947	1,757,306	△ 111,641	100.0 %	2,167	0.1 %

【主な収入】

(千円)

ア. 介護保険料	◇ 第1号被保険者保険料	287,557
イ. 国庫支出金	◇ 介護給付費負担金	278,780
ウ. 支払基金交付金	◇ 介護給付費交付金	415,275
エ. 道支出金	◇ 介護給付費負担金	244,460
オ. 繰入金	◇ 一般会計繰入金(介護給付費繰入金)	188,979

【主な未済額】

(千円)

ア. 介護保険料	◇ 第1号被保険者保険料(全体)	2,148
----------	------------------	-------

(2) 歳 出

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	執行残	執行残率
1.総務費	74,542	62,263	12,279	16.5 %
2.保険給付費	1,651,909	1,523,327	128,582	7.8 %
3.地域支援事業費	74,040	59,469	14,571	19.7 %
4.基金積立金	18	1	17	94.4 %
5.公債費	17,031	17,031	0	0.0 %
6.諸支出金	48,407	48,346	61	0.1 %
7.予備費	3,000	0	3,000	100.0 %
合 計	1,868,947	1,710,437	158,510	8.5 %

【執行残等の主なもの】

(千円)

ア. 総務費	◇ 介護認定調査会費	3,386
イ. 保険給付費	◇ 介護サービス等諸費	103,347
	◇ 介護予防サービス等諸費	1,354
ウ. 地域支援事業費	◇ 介護予防・生活支援サービス事業費	8,997
	◇ 包括支援等事業費	4,363

2. 財政の状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1.介護保険料	287,557	236,171	51,386
2.国庫支出金	479,792	461,078	18,714
3.支払基金交付金	424,100	429,679	△ 5,579
4.道支出金	263,723	257,726	5,997
5.繰入金	293,947	295,095	△ 1,148
6.財産収入	1	1	0
7.サービス収入	8,095	8,335	△ 240
8.諸収入	91	0	91
合 計	1,757,306	1,688,085	69,221

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 介護保険料	◇ 第1号被保険者保険料	51,386
イ. 国庫支出金	◇ 介護給付費負担金	7,983
ウ. 支払基金交付金	◇ 介護給付費交付金	△ 4,688
エ. 道支出金	◇ 補助金	5,666

(2) 歳出

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1.総務費	62,263	68,015	△ 5,752
2.保険給付費	1,523,327	1,504,118	19,209
3.地域支援事業費	59,469	64,138	△ 4,669
4.基金積立金	1	1	0
5.公債費	17,031	14,233	2,798
6.諸支出金	48,346	37,580	10,766
7.予備費	0	0	0
合 計	1,710,437	1,688,085	22,352

【増減の主なもの】

(千円)

ア. 保険給付費	◇ 居宅介護サービス給付費	9,940
	◇ 地域密着型介護サービス給付費	4,393
	◇ 施設介護サービス給付費	17,520
イ. 地域支援事業費	◇ 介護予防・生活支援サービス等負担金	1,355
ウ. 諸支出金	◇ 過年度過誤納還付金	10,766

《後期高齢者医療事業会計》

1. 予算の執行状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	増 減	決算額率	未済額	未収率
1.後期高齢者医療保険料	142,321	134,671	△ 7,650	66.1 %	△ 16	△ 0.0 %
2.繰入金	70,759	66,366	△ 4,393	32.6 %	0	0.0 %
3.繰越金	100	2,160	2,060	1.1 %	0	0.0 %
4.諸収入	1,121	550	△ 571	0.3 %	0	0.0 %
合 計	214,301	203,747	△ 10,554	100.0 %	△ 16	△ 0.0 %

【主な収入】

(千円)

ア. 後期高齢者医療保険料	◇ 後期高齢者医療保険料(現年度分)	134,210
イ. 繰入金	◇ 繰入金(全体)	66,366
ウ. 繰越金	◇ 繰越金	2,160

(2) 歳出

(単位:千円)

科 目	最終予算額	決算額	執行残	執行残率
1.総務費	8,379	7,820	559	6.7 %
2.分担金及び負担金	204,701	192,758	11,943	5.8 %
3.諸支出金	1,121	561	560	50.0 %
4.予備費	100	0	100	100.0 %
合 計	214,301	201,139	13,162	6.1 %

【執行残等の主なもの】

(千円)

ア. 総務費	◇ 一般管理費	333
イ. 分担金及び負担金	◇ 広域連合負担金	11,943

2. 財政の状況

(1) 歳入

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1.後期高齢者医療保険料	134,671	138,351	△ 3,680
2.繰入金	66,366	71,483	△ 5,117
3.繰越金	2,160	2,079	81
4.諸収入	550	387	163
5.国庫支出金	0	929	△ 929
合 計	203,747	213,229	△ 9,482

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 後期高齢者医療保険料	◇ 後期高齢者医療保険料	△ 3,681
イ. 繰入金	◇ 一般会計繰入金	△ 5,117

(2) 歳出

(単位:千円)

科 目	令和3年度	令和2年度	増 減
1.総務費	7,820	12,229	△ 4,409
2.分担金及び負担金	192,758	198,454	△ 5,696
3.諸支出金	561	387	174
4.予備費	0	0	0
合 計	201,139	211,070	△ 9,931

【増減の主なもの】 ◆前年度対比◆

(千円)

ア. 総務費	◇ 総務費(全体)	△ 4,409
イ. 分担金及び負担金	◇ 広域連合負担金	△ 5,697

《主な収入の未済額状況等》

(単位:千円)

		令和3年度 収入未済額	令和2年度 収入未済額	増減額	増減率 (%)	収納率(%)	
						R3年度	R2年度
(ア)市税	現年度	8,795	25,827	△ 17,032	△ 66.0	99.0	97.1
	過年度	50,028	42,932	7,096	16.5	18.9	9.1
	計	58,823	68,759	△ 9,936	△ 14.5	93.6	92.4
	不納欠損	2,858	2,004	854	42.6	—	—
(イ)住宅使用料	現年度	16,232	15,084	1,148	7.6	95.6	96.2
	過年度	356,000	360,069	△ 4,069	△ 1.1	3.5	3.7
	計	372,232	375,153	△ 2,921	△ 0.8	49.1	51.2
	不納欠損	5,894	2,224	3,670	165.0	—	—
(ウ)国民健康保険料	現年度	2,250	3,513	△ 1,263	△ 36.0	98.1	97.3
	過年度	6,244	10,722	△ 4,478	△ 41.8	31.6	26.6
	計	8,494	14,235	△ 5,741	△ 40.3	91.5	88.3
	不納欠損	2,920	2,968	△ 48	△ 1.6	—	—
(エ)下水道使用料	現年度	4,193	5,237	△ 1,044	△ 19.9	91.5	89.8
	過年度	5,354	4,484	870	19.4	44.3	49.7
	計	9,547	9,721	△ 174	△ 1.8	83.8	83.9
	不納欠損	45	22	23	104.6	—	—
(オ)介護保険料	現年度	262	632	△ 370	△ 58.5	99.7	99.7
	過年度	1,886	2,343	△ 457	△ 19.5	27.5	36.2
	計	2,148	2,975	△ 827	△ 27.8	99.1	98.7
	不納欠損	410	118	292	247.5	—	—
(カ)後期高齢者保険料	現年度	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	過年度	161	319	△ 158	△ 49.5	74.1	54.4
	計	161	319	△ 158	△ 49.5	100.0	100.0
	不納欠損	0	0	0	0.0	—	—
合 計	現年度	31,732	50,293	△ 18,561	△ 36.9	—	—
	過年度	419,673	420,869	△ 1,196	△ 0.3	—	—
	計	451,405	471,162	△ 19,757	△ 4.2	—	—
	不納欠損	12,127	7,336	4,791	65.3	—	—

【コメント】

本年度の主な収入における収入未済額、及び収納率等は上記に記載のとおりである。

現年度、過年度を合計した収納率の前年度対比では、市税、国民健康保険料、介護保険料で増加し、住宅使用料、下水道使用料では減少となっている。

未収金の回収は、市の歳入確保の観点からも重要であり、関係各課で連携した取り組みによる悪質な滞納者への対応、新規滞納者を増やさない対策を今後も積極的に進められたい。

また、納付意識を高める周知・指導を行うとともに、個々の生活実態に見合った相談業務や徴収計画による、より一層の市民対応を継続的に推進することを期待するものである。

3. ま と め

令和3年度の決算については、一般会計及び全特別会計において黒字決算もしくは収支均衡になったものである。

一般会計の歳入については、全体の45%強を交付税が占めており、次いで国庫支出金、市税、道補助金、他となっており「交付税頼り」の歳入予算計上であることは明白となっている。

特に、国庫支出金については、未だ収まらない新型コロナウイルス感染症に対応した地方創生臨時交付金、住民税非課税世帯に対する臨時給付金、また、子供たちへの支援の観点から、子育て世帯への臨時特別給付金などがあつたところである。他には、自主財源である個人及び企業版ふるさと納税による寄附金収入などがあつた。

歳出については、公債費が全体の32%を占めるなど本市が「財政再生団体」であることを再認識させる決算内容となっている。

続いて民生費の社会保障費等のうち、扶助費の割合が高く、公債費の元利償還金と併せて、この2科目だけで全体の歳出の55%を超えており、これは、財政が硬直化により、柔軟性・弾力性が失われ、政策予算の少ない緊縮財政が続いている表れである。

財政再生団体である本市の特徴的な決算ではあるが、その中でも幸福の黄色いハンカチ基金の活用、国庫補助金の活用等、財源を工夫しながら事業執行した成果は見て取れる。

執行した主な事業として、過去の火災事故からの復旧を目指しての「模擬坑道復旧設計委託料」等、関連予算の執行、子育て世帯を支援する「子育て世帯への臨時特別給付金」の支給、高校魅力化事業の一環として「公設塾」の運営、令和5年度供用開始となる市立診療所・介護医療院改築に係わる「建設工事費」などが執行された。

複数年続く、未だ先行きが見えない「新型コロナウイルス感染症対策」については、市内経済の活性化や経営支援に向けた「プレミアム付商品券発行・販売」、「経営持続化応援給付金」など、国庫支出金を活用した事業を実施したところである。

また、市内の交通体系としての「デマンド運行」に係わる補助、及び「夕張支線代替輸送費」の補助金も執行されている。

市内施設の観光振興においては、コロナ過の中でも、市内を訪れる観光客に対応するための施策として、「道の駅夕張メロード」の施設内の改修や、「幸福の黄色いハンカチ思い出ひろば」の整備など魅力的な観光施設を目指し実施したところである。

一般会計については、概ね、予定どおりの事業が適正に執行されたと認められるが、補助事業の要件や工事の発注時期など今後の予算執行で留意すべき点も見えた年度であつた。

次に、主な特別会計については、以下のとおりである。

国民健康保険事業会計については、国保加入者に対する、各種、健診や健康事業等を実施し、それに伴う周知など「健康及び予防」に努めるため、道支出金を中心とした財源にて運営しているところである。

また、自主財源である「国保料」の収入確保や未納者への対応など、課題はあるが、国保加入者に対する、医療保険の充実に向けて、保険者（市）としての努力をこれからの事業の安定化に努めるよう期待するものである。

市場事業会計については、少額予算にはなっているものの、市内事業者の活気ある「市場」を目指し経済回復の場となるよう、今後も引続き安定した管理運営を願う。

下水道事業会計については、人口減少に伴う使用料収入の減少と施設の老朽化など、課題は蓄積している。

会計としては、市からの繰入金での限られた財源で運営されているものであり、この先も、収支均衡の形での「下水道事業会計」を維持していくことが求められる。

介護保険事業会計については、本市の超高齢化社会が急加速で進む状況の中、それを支えるべき、支援・介護サービスが一層必須となるなか、実質収支額を基金に積立てるなど、安定した事業運営である。

年々上昇している介護保険料について、本市の介護（支援）サービスの利用者の増加を鑑みて、更なる上昇となることが推測されるが、介護保険準備基金を活用するなど、保険料の上昇を抑え、納入者の負担を少しでも軽減するよう検討願いたい。

また、介護保険計画に基づいた、各種サービスの充実や、介護保険施設等の充足率などを勘案し、益々将来に向けて重要性が増す、本市の介護保険事業の安定運営を期待する。

後期高齢者事業会計については、後期高齢者広域連合が運営主体であることから、しっかりと連携を取り、制度の仕組み等の周知については、広報等を通じて市民に対し理解されるよう努めて頂きたい。

令和3年度においては、休止していた「マウントレースイスキー場」が再開され、冬の観光客が来夕し、賑わいが戻りつつある。この後にも続く宿泊施設の再開を望む声も聞かれ期待したい。

将来の施策について、今年度より再開の方針が明確になった「模擬坑道」の改修工事の実施や、市立診療所・介護医療院の本体工事など、財政再生団体の中でも希望を持った事業が執行された。

引続く人口減少に対応したコンパクトシティの推進など持続可能なまちづくりを更に目指し、押し進めて行く必要があり、これからもその施策の実行が求められる。

今後も、財政再生計画を着実に遂行しつつ、行政と市民が共に知恵を出しあう、「ゆーばりならでは」の特色ある市政や魅力あるまちづくりに尽力されることを願う。